

受付	個人質問 令和 年 月 日	第 号 時 分
----	------------------	------------

一般質問＜個人＞発言通告書

令和2年11月16日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 ささせ順子 ㊞

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>不妊に悩む方への支援について</p> <p>日本産科婦人科学会のまとめによると、2018年に不妊治療の一つである体外受精で生まれた子どもは5万6,979人と前年に続いて過去最高を更新した。16人に1人が体外受精で生まれたことになる。ライフスタイルの変化に伴う晩婚化などで妊娠を考える年齢が上がり、治療件数も45万4,893件と過去最高となっている。</p> <p>国においては2004年度から「特定不妊治療助成事業」が創設され、その後も助成額や所得制限などを段階的に拡充してきた。また、不妊治療への保険適用もなされてきたが、その範囲は不妊の原因調査など一部に限られている。保険適用外の体外受精や顕微授精は1回当たり数十万円の費用がかかり、何度も繰り返すことが多いため、治療を行う人々にとって過重な経済負担になっている場合が多い。</p> <p>こうした背景から、厚生労働省は不妊治療の実態調査を開始し、保険適用の拡大と、所得制限の撤廃を含めた助成制度の拡充について検討を進めている。</p> <p>また、妊娠はするものの、流産や死産を繰り返す不育症についても、約80%が適切な検査と治療で出産できるといわれている。市民の「子どもを産み育てたい」という希</p>	

	<p>望を叶えるため、費用面や精神面の不安を軽減できるよう、次世代育成支援の拡充を求めたい。</p> <p>(1) 本市の少子化対策への取り組みはどのようなか。 (2) 不妊症・不育症の相談体制はどのようなか。 (3) 一般不妊治療費助成を拡充しないか。</p>	
2	<p>移動困難な高齢者への支援について</p> <p>平成29年第4回定例会で、N-バスの停留所まで歩く事が出来ない交通弱者への支援として、福祉タクシーによるドア to ドアの送迎体制の導入を要望した。定額乗合タクシーの実証実験は、「N-バスを利用できない移動困難者」を支える新たな交通手段として大きな期待が寄せられたが、様々な課題が明らかとなり、導入には至っていない。</p> <p>運転免許証を返納した高齢者の中には、歩行可能であっても、医療上の必要により歩行制限が出されていたり、つかまり立ちならかろうじて歩けるなど、様々な理由により移動に困難さを抱えている場合があるが、自由に外出をしたい気持ちは元気な高齢者と変わらない。送迎を頼める近親者がいない事も一因となり、外出出来ずに日常生活や社会生活が困難になっているケースが見受けられるため、定額乗合タクシーの代替手段となる外出支援を求めたい。</p> <p>(1) 移動困難な高齢者の生活実態は把握しているか。 (2) 外出控えによる諸問題に対して、どのような対策をしているか。 (3) 移動困難者の日常生活を支えるためにタクシー料金の助成をしないか。</p>	
3	<p>制服の自由選択制について</p> <p>市内の中学生から、制服のスラックスやスカートなどを性別に関係なく、自由に選べる「制服選択制」を求める声が挙がっている。現在、全ての中学校が男子生徒は詰襟の学生服、女子生徒はセーラー服を標準制服としているが、</p>	

	<p>生徒が学校生活を送る上で、自分らしく快適に過ごせるよう、利便性やジェンダーレスに配慮した制服を選択できる制度の設置を求めたい。</p> <p>(1) 生徒や保護者を対象にアンケート調査を行い、制服に対する要望や課題を掌握しないか。</p> <p>(2) 一人ひとりが自分にあった制服を選べる制服選択制度を導入しないか。</p>	
4	<p>プラスチックごみ削減への取り組みについて</p> <p>私たちが日頃、便利に使っているレジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみ（廃プラスチック）は世界的な問題となっており、レジ袋の有料化など、使い捨てプラスチックの排出量を2030年までに25%削減へ向けた動きが加速している。日本では年間約900万トンのプラスチックごみが排出されており、そのうち約400万トンが容器包装やペットボトル、レジ袋といった使い捨てプラスチックとなっている。</p> <p>プラスチックごみの有効利用率は85.8%（リサイクル率27.8%、熱回収率58.0%）という水準を維持しているが、このままでは2050年になるとプラスチックの方が魚よりも重量が増える見通しと予測されている。また、「マイクロプラスチック」による生態系への影響も懸念されている。</p> <p>本市に海はないが、この現状を踏まえて、次世代のためにもより良い地球環境を維持するにはプラスチックごみをこれ以上出さないことが必要となる。</p> <p>(1) 本市のプラスチックごみの現状はどのようなか。</p> <p>(2) プラスチックごみ問題について、具体的にどのような対策をしているのか。</p> <p>(3) 海洋プラスチック汚染の問題について、市としてどのような考えを持っているのか。</p>	